朝日新聞
THE ASAHI SHIMBUN DIGITAL

〈視線の先に〉ふんばるよ、来年も

2011年12月28日19時38分

【写真1】高台の新店舗の前に立つ三浦保志さん＝いずれも宮城県南三陸町、西畑志朗撮影

【写真2】津波に襲われ鉄骨だけになった店舗。三浦保志さんの思いを込めたメッセージが掲げられていた

年の瀬が迫り、宮城県南三陸町の魚屋「さかなのみうら」は大忙しだ。社長の三浦保志さん（57）は仕込みに追われる。「この地域ではおせちと一緒に刺し身を食べる。盛り合わせがよく売れる」

港近くにあった店舗は、津波で鉄骨だけを残し流された。「ふんばろう南三陸」という看板を掲げて元の場所での復活を目指したが、地盤沈下の影響で満潮時に浸水するなどして断念。高台の空き店舗を借りて9月29日に店を再開した。

集まった支援物資を仕分けて、必要な人に届けるボランティアの代表もしている。「全国からの支援がなければ店は再開できなかった。これからも、つながりを大事に、魚を売っていきたい」（西畑志朗）

【写真3】店舗に掲げられていたメッセージ。支援してくれた人への感謝の言葉がつづられていた

【写真4】南三陸町の魚市場で。セリの合間に笑顔もこぼれる

【写真5】調理場で塩ザケをさばく

【写真6】店には多くの魚が並ぶ。正月にかけて大忙しだ

掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright 2011-2012 The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.